

雨水貯留施設

この施設は、国が2013(平成25)年4月に創設した「100mm/h 安心プラン」登録制度に「郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン」の名称で、2014(平成26)年9月に東北地方で初めて登録し、2017(平成29)年度から、2023(令和5)年度の6箇年で5箇所の雨水貯留施設を整備しました。



問 下水道保全課 TEL 024-932-7663



麓山調整池



小原田貯留管

貯留施設概要一覧

No	雨水貯留施設名	供用開始時期	雨水貯留量	口径など
①	麓山調整池 (21世紀記念公園 麓山の杜)	2019年 6月	2,200㎡	32m × 35m × 2m
②	図景貯留管 (静御前通り)	2021年 9月	6,660㎡	Φ4,000mm × 534m
③	赤木貯留管 (うねめ通り)	2021年10月	9,160㎡	Φ3,000mm × 1,308m
④	小原田貯留管 (東部幹線)	2023年 1月	17,570㎡	Φ4,000mm × 1,398m
⑤	石塚貯留管 (郡山中央工業団地内)	2023年 8月	2,680㎡	Φ2,400mm × 596m
	合計貯留量		38,270㎡	

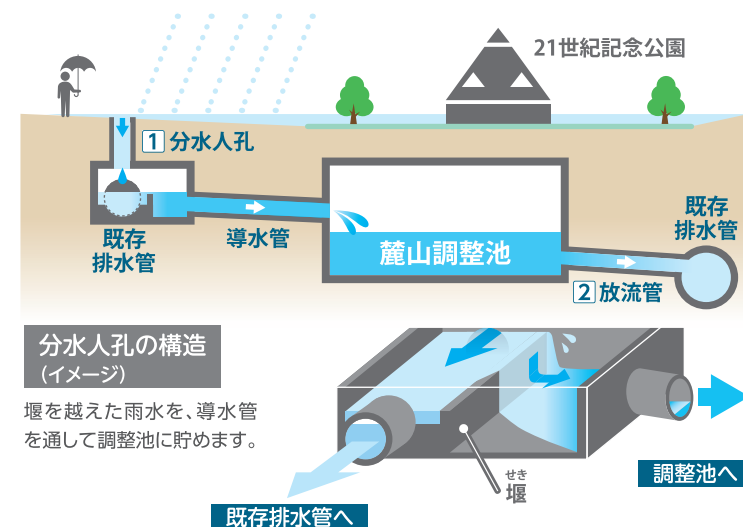
① 麓山調整池の特徴

① 雨水が貯まる仕組み

ゲリラ豪雨などにより、既存排水管がいっぱいになった時に、あふれた雨水が「分水人孔」から導水管を通じて、麓山調整池に貯まります。

② 貯まった雨水の排出方法

既存排水管の水位が下がった段階で、自然に排水されます。



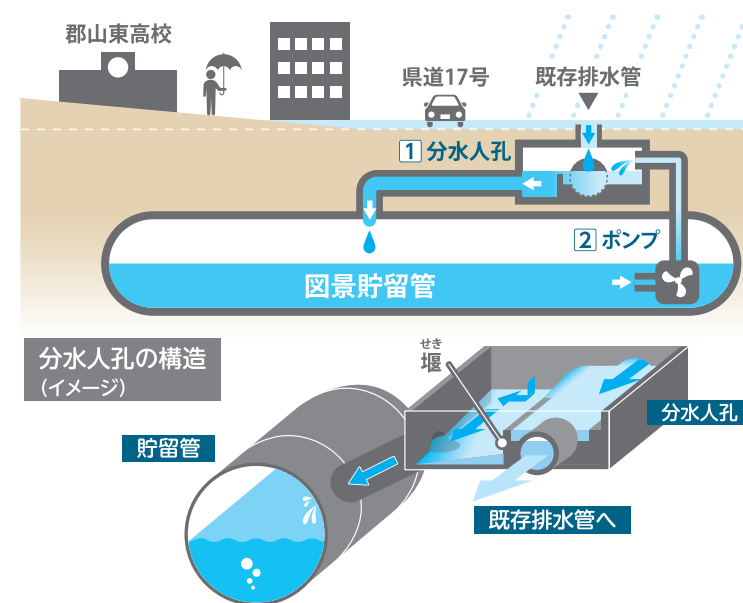
② 図景貯留管の特徴

① 雨水が貯まる仕組み

ゲリラ豪雨などにより、既存排水管がいっぱいになったときに、あふれた雨水が「導水管」などの既存排水管や「分水入孔」から、貯留管に貯まります。

② 貯まった雨水の排出方法

既存排水管の水位が下がった段階で、貯留管に貯まった水をポンプを使ってくみ上げて排水します。



浸水対策の効果

【麓山調整池の整備効果】

令和元年5月15日(水)

10分間雨量20mm
1時間雨量33mm

通行止め1箇所



令和元年6月23日(日)

10分間雨量18mm
1時間雨量33mm

通行止め0箇所
同程度の雨だったが浸水が軽減



麓山調整池の
併用開始後